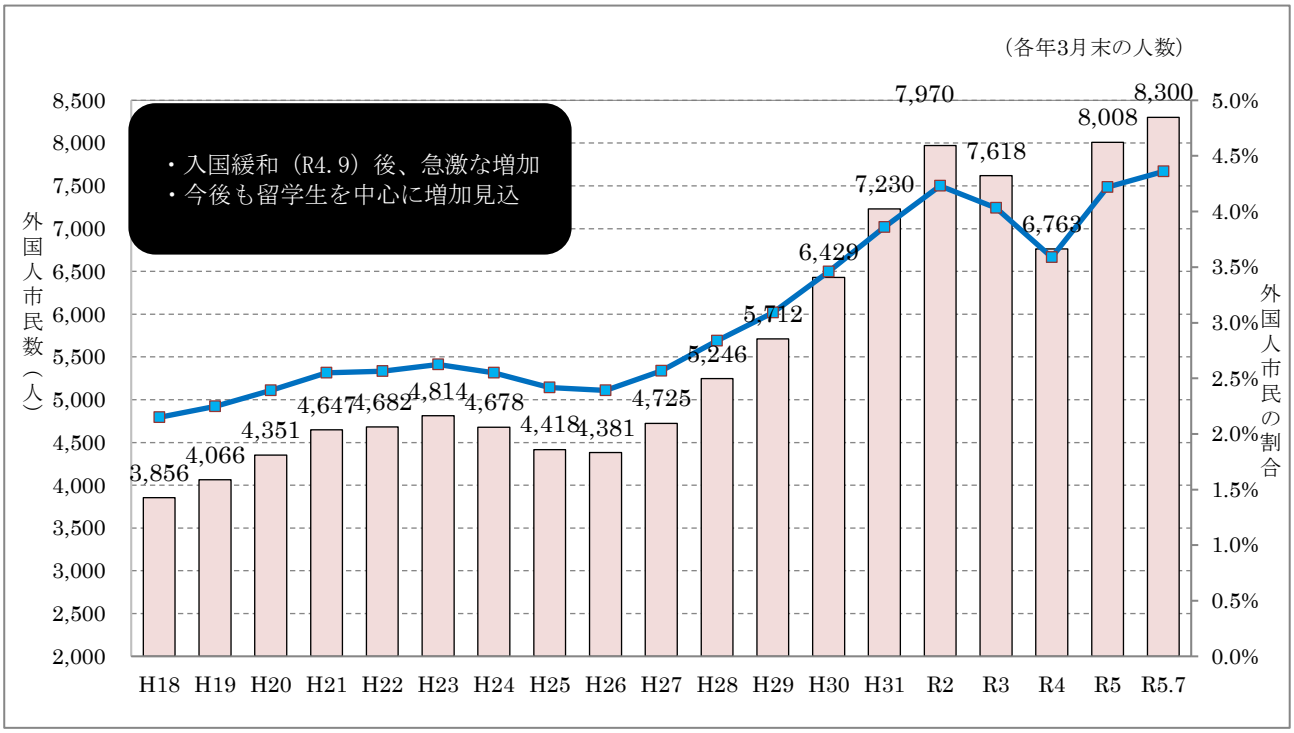
資料１

東広島市における外国人市民の状況

令和５年８月22日
市民生活課国際交流係

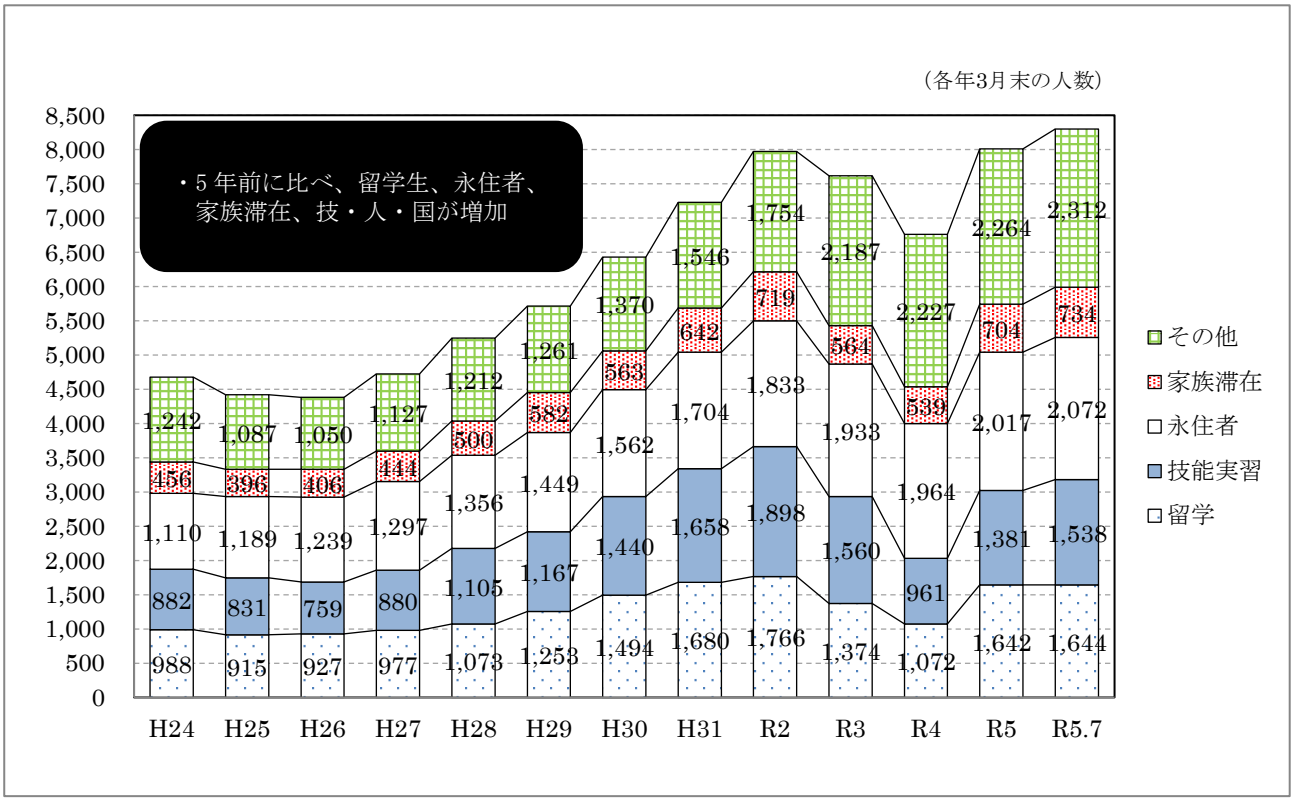
■外国人市民数（令和５年７月末現在）　※過去最高を更新中

外国人市民数：8,300人(107か国)、総人口（日本人＋外国人）：190,243人
総人口に占める外国人市民の割合：4.36%



■在留資格別外国人市民数（令和５年７月末現在）

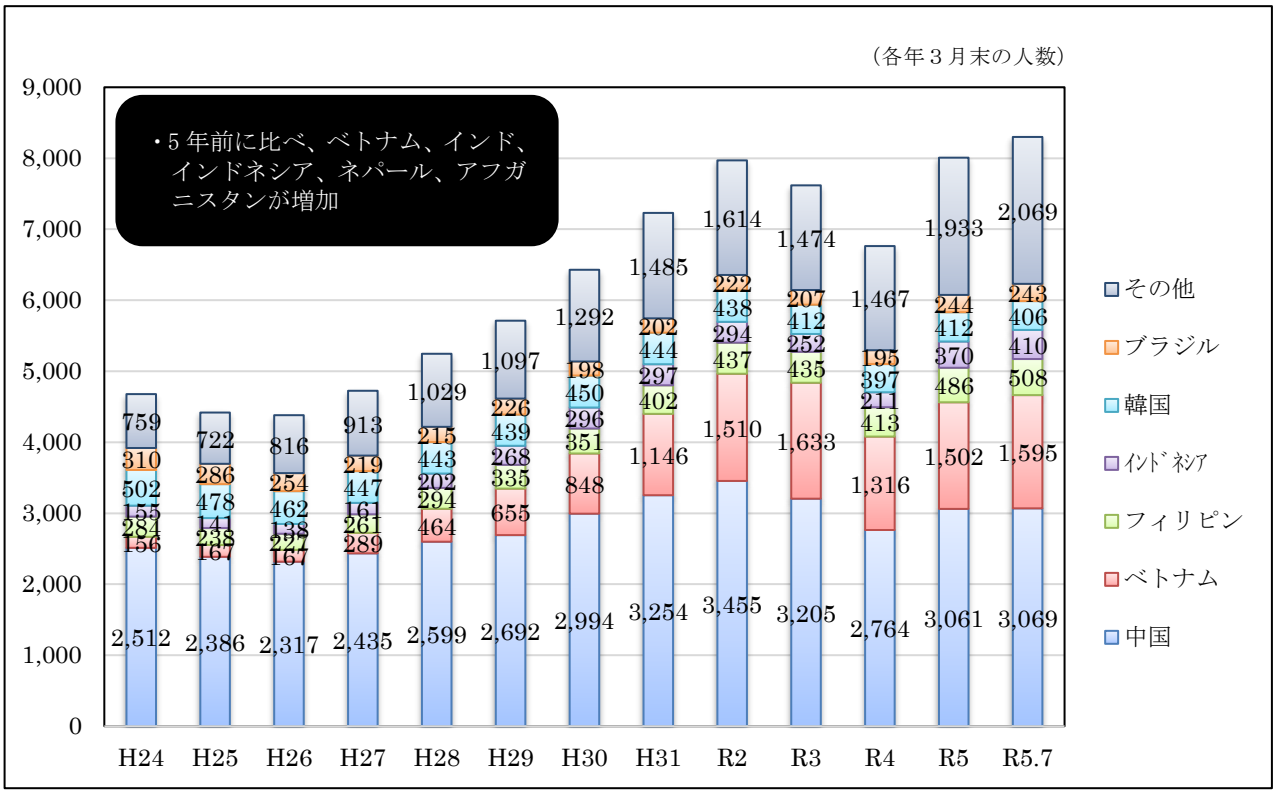
①永住者：2,072人（25.0%）、②留学1,644人（19.8%）、③技能実習：1,538人（18.5%）



■国籍別外国人市民数（令和５年７月末現在）

①中国：3,069 人（37.0%）、②ベトナム 1,595 人（19.2%）、③フィリピン：508 人（6.1%）

④インドネシア：410 人（4.9%）、⑤韓国 406 人（4.9%）、⑥ブラジル：243 人（2.9%）

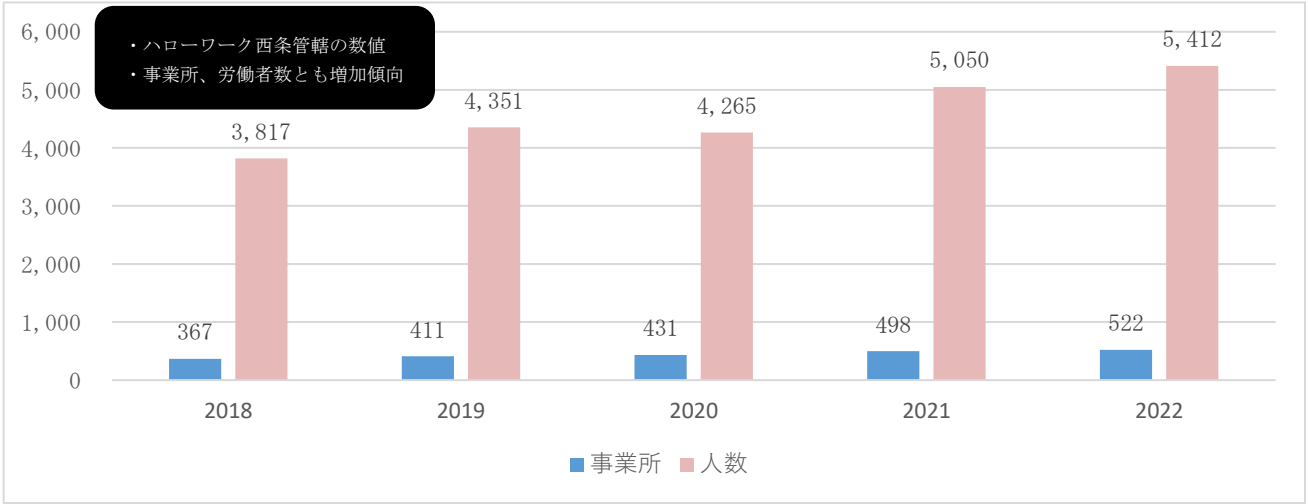


■町別外国人市民数（令和５年５月末現在）

①西条町（5,108 人）、②八本松町（1,307 人）、③高屋町（616 人）、④黒瀬町（533 人）、⑤志和町（287 人）

人口順	①西条町	②八本松町	③高屋町	④黒瀬町	⑤志和町	⑥安芸津町	⑦河内町	⑧豊栄町	⑨福富町
上位在留資格	留学（1,555）	永住者（394）	永住者（230）	技能実習（234）	技能実習（210）	技能実習（125）	技能実習、永住者（13）	技能実習（30）	技能実習（9）
	永住者（1,235）	技能実習（358）	技能実習（209）	特定技能（96）	永住者（28）	特定技能（76）	家族滞在（7）	永住者（8）	永住者、特定技能、特別永住者（3）
	家族滞在（641）	留学（109）	特別永住者（29）	永住者（83）	特定技能（27）	永住者（28）	定住者（2）	技術・人文知識・国際業務（3）	－

■外国人雇用事業所・外国人労働者数（各年 10 月末）　※広島労働局調査



資料 2-1

第３次東広島市国際化推進プランにおける実施事業の進捗状況について

令和５年８月 22 日
市民生活課国際交流係

1　概要

・別紙「第３次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧」は、令和２年７月に策定した「第３次東広島市国際化推進プラン」（期間：令和２年～令和６年）における、令和４年度の市役所内関係課の事業進捗状況について整理したものです。

2　表の見方

・国際化を推進するため、市役所内で具体的に取り組む事業に事業Ｎｏ．（No.1～No.81）をつけています。
・全 81 事業（再掲分を含む場合は 99 事業）に対して、事業担当課と活動指標名を明記し、現状値（R1）をベースにR2～R6 年度まで数値目標を記載しています。
・上記において各年度に数値目標の設定が難しいものは、活動指標名に「実施」とし、各年度の目標値欄には「→」を記載しています。
・今回はR4 年度の事業実施結果として、目標値（R4）と実績値（R4）を比較して次のように記載しています。
①目標値（数値あり）に対し、実績値（R4）欄には実施した内容の具体的な数値を記載しています。
②目標値（数値なし）に対し、実績値（R4）欄には実施したものに「○」、一部実施できたものに「△」、実施できなかったものに「×」とし、実施予定ではなかったものは「－」を記載しています。
・表の一番右側にある実施内容等の欄には、主な取り組み内容と未実施の場合の理由等を記載しています。

3　結果

・令和４年度の事業実施状況（**全 81 事業**）は次のとおり。
① 計画どおり実施し、目標値を上回ったもの：**60 事業**（クリーム色）
② 計画どおり実施したが、目標値を下回った（一部実施のみ）のもの：**16 事業**（橙色）
③ 計画どおり実施できなかったもの：**3 事業**（ピンク色）
④ 実施計画にないもの：**2 事業**（白色）

■目標値達成事業（60 事業：上記①）　※R3 年度 52 事業、R2 年度：47 事業
・全体の約７割以上の事業が目標値を達成できたが、数値目標値の設定が難しい事業も多く、各事業の実施内容について精査する必要がある。引き続き各年度において目標値が達成できるよう、関係課との情報共有を行い、進捗管理に努めていく。
■目標値未達成事業（19 事業：上記②・③）　※R3 年度 27 事業、R2 年度：26 事業
・新型コロナウイルス感染症により、令和４年度前半は、引き続き人との接触を制限される対策が講じられ、イベントや研修等が計画どおり実施できない状況であった。令和４年９月に入国規制が緩和されたことにより、外国人市民数が増えてきたものの、全体の外国人市民数がコロナ禍以前に比べ減少していたため、活動指標に掲げる目標値（利用者数、受講者数等）を達成することが一部困難となった。

4　検証等

・令和４年度９月より順次入国規制が緩和され、外国人市民数は令和４年度後半より増加したが、年度前半は、前年度に引き続き海外との往来や国内における人との接触が制限されていたため、対面を前提とする各事業において目標値を達成することが困難な状況が続いた。しかしながら、人数制限を設けた交流や、オンラインの活用等により、目標値を上回る事業の実施率は令和３年度と比べ増加した。
・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、令和５年５月から「５類」に移行したことにより、今後は対面での実施に制限がより少なくなると思われる。引き続き目標値達成に向け対応していく。

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：○、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	目標値(R3)	実績値(R3)	目標値(R4)	実績値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	実施内容・目標値未達成理由等
1　誰もが暮らしやすい多文化共生のまち	1　外国人市民の生活環境の充実	（1）相談体制の充実	1	継続	外国人相談窓口の充実	○外国人が抱える疑問や問題についての相談対応のため、多言語による相談窓口を設置し、相談員の研修やＩＴの活用等による体制の充実を図ります。	1	コミュニケーションコーナー運営	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	コミュニケーションコーナー利用者数	15,100人	15,400人	9,111人	15,700人	5,404人	16,000人	8,477人	16,300人	16,600人	【減理由】 新型コロナウイルスによる入国規制（R4.9まで）の影響で、外国人市民数が減少していたため
			2	継続	専門的な相談の実施	○外国人市民の国籍、在留資格などの多様化に伴い複雑化する相談に対応するため、国、県、他市町の相談窓口や、広島弁護士会等の関係機関と連携し、円滑な解決につなげます。	2	外国人のための法律相談の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	17件実施（英×8件、中×4件、韓×1件、日×4件） ※月１回、広島弁護士会から弁護士派遣
							3	他機関・自治体の相談窓口との連携	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	ウクライナ避難民等の対応に関し、出入国在留管理庁、HIC（ひろしま国際センター）、広島県等と生活支援について連携
							4	外国語による人権相談窓口の周知	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	人権男女共同参画課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	コミュニケーションコーナーで人権相談案内の多言語版チラシの設置（英、中、韓、ポ、ベ等10か国）
		（2）情報提供の充実	3	継続	円滑な生活の開始に向けた情報提供	○本市での円滑な生活の開始につなげるため、転入時における生活オリエンテーションや外国人市民向けサービスの周知を行い、日本の文化や生活ルール等への理解促進を図ります。	5	行政国際化推進員の配置	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	市役所内（市民生活課）に1名（英・中・日対応）配置し、窓口通訳や翻訳業務に従事
							6	生活オリエンテーションの実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	外国人新規転入世帯に対するオリエンテーション実施率	36%	39%	40.7%	42%	91.8%	45%	53%	48%	51%	新型コロナウイルスにより、対面でのオリエンテーションは数回程度の実施となったが、代わりに新規転入世帯へは生活ガイドブック（英、中、ベ、ポ、やさしい日本語）を配布
							7	新規転入世帯に対する外国人市民向けサービスの周知	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	新規転入全世帯に対し、ハガキで相談窓口や日本語教室を案内（年4回）
			4	拡充	多言語での情報提供の充実	○外国人市民が、本市で安心して円滑に生活できるよう、広報紙やインターネット等を活用し、生活に必要な情報を多言化して提供します。 ○コミュニケーションコーナーにおいて、ＳＮＳ等を活用した情報発信や海外雑誌等の配架など、多言語による情報提供の充実を図ります。 ○図書館において、外国語図書の充実や、図書館利用案内の外国語版作成・配布など、外国人も利用しやすい環境づくりに取り組みます。	8	生活ガイドブックの作成・配布	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	外国人新規転入世帯に対する配布率	－	－	○	42%	91.8%	45%	53%	48%	51%	新規転入世帯へ生活ガイドブック（英、中、ベ、ポ、やさしい日本語）を配布。市窓口で代表者がまとめて手続をする場合もあり、市の配布率としては実施率が低下
							9	多言語広報の作成・配布	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 広報戦略監	配布数及び市HP掲載ページのアクセス数等	1,590 件	1,875 件	1,209件	1,940 件	1,146件	2,010 件	1,447 件	2,075 件	2,140 件	配布数972件、市HPページビュー数475件 【減理由】 新規外国人転入者の減によるため
							10	多言語メールの作成・配信	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	登録者数	375人	465人	396人	505人	401人	540人	435人	575人	610人	コミュニケーションコーナーで発信しているメルマガ登録者数 【減理由】新規外国人転入者の減によるため
							11	ホームページの自動翻訳機能の充実・利用促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 広報戦略監	自動翻訳機能利用件数	4,800件	4,970件	6,827件	5,090件	5,704件	5,210件	5,996件	5,330件	5,450件	日・英・中・ポ・韓・ベの６言語
							12	コミュニケーションコーナーでの多言語情報の提供	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	コミュニケーションコーナー利用者数	15,100人	15,400人	9,111人	15,700人	5,404人	16,000人	8,477人	16,300人	16,600人	【減理由】 新型コロナウイルスによる入国規制（R4.9まで）の影響で、外国人市民数が減少していたため
							13	市立図書館の多言語情報の充実	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	生涯学習課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	・館内掲示の外国語表記（7館：日、英）を実施 ・多言語図書51冊追加 ・利用案内の外国語版は利用方法の変更により改訂準備中
			5	拡充	情報提供方法の充実	○外国人市民の生活に必要な情報が、より広く確実に行き届くよう、アプリやＳＮＳ、動画配信など、多様化するツールを適切に活用し、情報を発信します。 ○外国人とのつながりの深い企業や監理団体、大学等を通じて、より効果的な情報提供を行います。	14	情報発信におけるツールの多様化	拡充	⇒	○	⇒	⇒	⇒	市民生活課 DX推進監	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	ＬＩＮＥやＦＢ、中国人向けのＳＮＳアプリ「Ｗechat」にて情報を発信
							15	企業・監理団体・大学等を通じた効果的な情報提供	拡充	⇒	○	⇒	⇒	⇒	市民生活課 政策推進監 （大学連携）	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	大学、監理団体を通じ、留学生、技能実習生への情報提供を実施
		（3）コミュニケーション支援の充実	6	継続	日本語でのコミュニケーション支援	○外国人市民のコミュニケーション能力の向上を支援するため、レベルや形態、時間帯等が異なる複数の日本語教室を開催します。 ○外国人市民にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及を促進し、地域や職場、学校等における外国人とのコミュニケーションの円滑化を図ります。 ○乳幼児健診や市立学校等に通訳者を派遣し、保護者や外国人児童生徒等との日本語での意思疎通を支援します。	16	日本語教室の運営	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	延べ受講者数	4,520人	4,635人	1,420人	4,770人	1,572人	4,905人	2,744人	5,040人	5,220人	【減理由】 新型コロナウイルスによる入国規制（R4.9まで）の影響で、外国人市民数が減少していたため
							17	やさしい日本語普及事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	やさしい日本語研修・講座開催数	－	4回	5回	6回	5回	6回	4回	6回	6回	・やさしい日本語講座2回開催（市・生涯学習推進員、広島国際大学） ・防災アドバイザー事業2回実施 【減理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止としたため
							18	乳児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）や乳幼児健診における通訳者派遣	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	こども家庭課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	乳幼児健診は8日/月実施のうち、通訳を2日/月派遣。赤ちゃん訪問は通訳者（英・中）と同行し実施
							19	市立学校通訳者・支援員派遣事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	指導課 市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	120件の派遣 通訳者（英・中・アラビア語）52回派遣
			7	拡充	広域連携による高度な通訳への対応	○医療分野など高度な通訳に対応するため、ひろしま国際センターによる医療通訳ボランティア派遣事業を活用し、外国人市民が安心して病院で受診できる体制づくりを進めます。	20	医療通訳ボランティア派遣事業の利用促進	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	派遣実績（HIC→東広島市）1件（中国語）

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：〇、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	目標値(R3)	実績値(R3)	目標値(R4)	実績値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	実施内容・目標値未達成理由等
1　誰もが暮らしやすい多文化共生のまち	1　外国人市民の生活環境の充実	（4）こどもの教育支援の充実	8	拡充	出産・子育て支援	〇外国につながる子どもや保護者が支援を円滑に利用できるよう、対応できる人材の確保やハラル食への配慮、接し方に関する研修を実施します。 〇各種資料の多言語化や通訳者、ＩＴ機器等の自動翻訳ツールの活用により多言語対応の強化を図ります。	21	多言語版子育てガイドブックの作成・配布	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	こども家庭課 保育課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	ガイドブックの内容を更新し、市ホームページにて多言語（英・中・ポ・ベ）で公開。令和4年度は、ベトナム語を追加
							(18)	【再掲】乳児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）や乳幼児健診における通訳者派遣	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	こども家庭課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	乳幼児健診は8日/月実施のうち、通訳を2日/月派遣。赤ちゃん訪問は通訳者（英・中）と同行し実施
							22	保育施設における自動翻訳ツール等の活用、研修の実施	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	保育課	実施	－	→	△	→	〇	→	〇	→	→	自動翻訳ツールの活用や保育施設従事者を対象に、「やさしい日本語」研修を実施
							23	大学と連携した留学生等の活躍による学外支援の実施	拡充	⇒	〇	⇒	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携）	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	広島大学スマートシティ共創コンソーシアムで企画している「多言語コミュニケーション基盤」の構築に向けた議論を開始
			9	継続	就学時の支援	〇外国につながる子どもの円滑な就学を支援するため、就学を控えた保護者に対して、「学校ガイドブック」を多言語で作成、配布し、日本の教育制度や学校生活についての理解を促進します。 〇転入時には就学意思の実態把握に努め、円滑な就学につなげます。	24	学校ガイドブックの作成・配布	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	学事課 指導課	来庁した外国人への配布率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	英・中・ポ・やさしい日本語の４言語
							25	学齢期のこどもの実態把握と保護者への就学支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	学事課	帰国等の正当な理由で就学しない者を除いた就学率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	未就学児童等への通知及び調査により実態を把握
			10	継続	円滑な学校教育に向けた支援	〇外国につながる日本語での授業が難しい児童生徒を指導するための、日本語指導等教育活動を充実し、学校への円滑な適応を図ります。	26	日本語指導の充実	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	指導課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	来日間もない児童生徒が学校生活へ適応できるよう、編入学前の１か月程度、学校生活や初期日本語に係る日本語初期指導教室を実施（県内で本市のみ） その他、市内に日本語指導拠点校を設置し、日本語指導担当者研修、日本語指導運営協議会、日本語指導連絡協議会を実施
			11	継続	学校等での円滑な意思疎通に向けた支援	〇外国につながる日本語の理解が十分でない幼児児童生徒が在籍、又は在籍する予定の学校に対して、必要に応じて、通訳者・支援員を派遣し、学校生活への適応支援や、教育環境の充実を図ります。 〇中学校における三者懇談会等に通訳者を派遣し、日本の教育制度の理解と進学への意識向上を図ります。	(19)	【再掲】市立学校通訳者・支援員派遣事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	指導課 市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	120人の派遣 通訳者（英・中・アラビア語）52回派遣
			12	拡充	学校外での教育支援	〇外国につながる子ども向けの日本語教室を開催し、日本語学習、教科学習等の支援を行います。 〇学習支援を体系的に行うため、コーディネーターの配置や、大学と連携した支援者の育成を図ります。	27	児童生徒向けの日本語学習・教科学習支援教室U-18の運営	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	延べ受講者数	800人	830人	720人	860人	604人	890人	1,090人	920人	950人	外国人児童生徒を対象とした日本語学習支援、教科学習支援、社会見学等を実施するとともに、外国人児童生徒の居場所づくりを実施
							(23)	【再掲】大学と連携した留学生等の活躍による学外支援の実施	拡充	⇒	〇	⇒	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携）	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	広島大学スマートシティ共創コンソーシアムで企画している「多言語コミュニケーション基盤」の構築に向けた議論を開始
		（5）防災対策の充実	13	拡充	防災に関する啓発の推進	〇災害時に適切に避難等ができるよう、地震や台風等災害発生時の対応、避難場所等について、ガイドブック、ハザードマップ、動画、日本語教室、防災訓練など多様な媒体や機会を活用し、防災に関する知識や意識を高めます。	28	防災フェスタ事業等の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	防災フェスタに14名が参加し、防災グッズつくりや、レゴを使った防災ワークショップを体験
							29	防災出前講座等の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	危機管理課	参加者数	60人	65人	×	70人	14人	75人	×	80人	85人	【未実施理由】 新型コロナウイルスの影響等により、講座等が実施できなかったため
							30	多言語による防災メール等配信サービスの充実	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	危機管理課	登録者数	285人	328人	306人	371人	318人	414人	311人	457人	500人	【減理由】 外国人向け防災教室等で防災メールの広報を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、防災教室等が一部中止となったため
			14	拡充	災害時の多言語による情報発信の充実	〇災害発生の危険性が高まっているときや災害発生時に、外国人市民に情報を伝えるため、防災メールやホームページ等の多言語化を図ります。	31	ハザードマップの多言語化	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	危機管理課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	日・英・中・韓・西・ポ・ベの７言語版を作成し、市HPで公開
							32	SNS等を使った防災情報の発信	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	警報や避難指示発令時に、コミュニケーションコーナーのFB等で避難情報を多言語（英・中・ポ・ベ・やさしい日本語）で発信
							33	避難所における多言語対応ツールの活用	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 危機管理課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	避難所で必要な対応項目について、８言語（英・中・韓等）に訳し各避難所へ配布 翻訳アプリをセットしたiPadを避難所へ配備
							(11)	【再掲】ホームページの自動翻訳機能の充実・利用促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 広報戦略監	自動翻訳機能利用件数	4,800件	4,970件	6,827件	5,090件	5,704件	5,210件	5,996件	5,330件	5,450件	日・英・中・ポ・韓・べの６言語
			15	継続	緊急時の多言語対応の周知	〇緊急時に、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民、観光客が不安なく119番通報できるようにするため、通報時の三者通訳サービスの周知啓発を行います。	34	119番通報等に係る多言語対応の周知	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	指令課	外国人市民を対象とした防災講習の受講者数	563人	600人	286人	700人	31人	800人	512人	900人	1,000人	【減理由】 新型コロナウイルスの影響により、講習等を一部中止としたため
			16	【重点】 拡充	災害の発生に備えた体制の整備	〇災害発生時に適切な支援を行うため、避難所運営や情報発信において必要な多言語、多文化対応の整理を進めます。また、地域自治組織等との連携による支援体制づくりに努めます。 〇通訳、翻訳ボランティアの確保のため、市内における人材育成を図るとともに、広域的な応援体制の整備を図ります。	35	災害時の避難所運営等のための多言語・多文化対応の整理	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 危機管理課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	避難所で必要な対応項目について、８言語（英・中・韓等）に訳し各避難所へ配布 翻訳アプリをセットしたiPadを避難所へ配備
							36	国際交流ボランティアの登録・育成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	登録者数	550人	580人	643人	605人	697人	630人	538人	655人	680人	うち、外国人市民107人（中国籍が多い） ボランティア向けのスキルアップ講習会を5回開催 【減理由】 新規登録者数は例年以上だったが、前年度からの登録継続者が減ったため
							37	他機関・自治体等との広域的な応援体制の整備	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	ひろしま国際センターとの連携による医療通訳派遣制度の利用
							38	地域住民に対する外国人市民受入れに向けた啓発	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 地域づくり推進課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	防災アドバイザー事業の実施2件 （下見福祉会館、志和町支え合い会議）

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：○、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R2）	実績値（R2）	目標値（R3）	実績値（R3）	目標値（R4）	実績値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）	実施内容・目標値未達成理由等
1　誰もが暮らしやすい多文化共生のまち	2　外国人市民も共に活躍できる環境づくり	（1）地域社会への参画	17	【重点】拡充	外国人市民のキーパーソン等の把握	○外国人市民の積極的な地域活動等への参加、参画を促進するため、イベント等を通じて、外国人と日本人や地域をつなぐキーパーソンとなる人物の発掘を進めます。 ○キーパーソンを中心として、同国出身者のネットワークを把握し、連携を図ります。	39	連携促進事業（国際交流団体等のつながりづくり）の実施	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	連携促進事業団体・個人数	－	15	20	17	26	19	26	21	23	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
							40	大学との連携による留学生コミュニティの把握	新規	－	◎	⇒	⇒	⇒	市民生活課 政策推進監（大学連携）	実施	－	－	－	→	○	→	○	→	→	広島大学の国際交流拠点施設「ミライクリエ」を活用し、外国人市民の国別コミュニティの形成や市民との交流を目的とした交流事業を5回開催
			18	【重点】拡充	地域活動への参画促進	○地域の自治組織の認知度を高め、外国人市民の積極的な地域活動等への参加、参画を促進するため、組織の存在や役割の理解を促進し、組織への加入や参画につなげます。 ○受入側の地域の自治組織に対して、外国人の加入や参画に向けた啓発を行います。	41	外国人市民向けの地域組織等の啓発	新規	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 地域づくり推進課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	市広報の多言語版や生活ガイドブックで地域組織情報の掲載
							(38)	【再掲】地域住民に対する外国人市民受入れに向けた啓発	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 地域づくり推進課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	防災アドバイザー事業の実施2件 （下見福祉会館、志和町支え合い会議）
			19	拡充	地域で活躍しやすい環境づくり	○外国人市民の地域社会での活躍や共助につなげるため、国際交流ボランティア制度の周知を図り、登録を促進します。 ○日本人市民への「やさしい日本語」の普及を図り、外国人市民とのコミュニケーション力の向上を図るとともに、自主的なイベント等の開催を支援し、外国人市民も企画段階から参画しやすい環境の整備に努めます。	(36)	【再掲】国際交流ボランティアの登録・育成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	登録者数	550人	580人	643人	605人	697人	630人	538人	655人	680人	うち、外国人市民107人（中国籍が多い） ボランティア向けのスキルアップ講習会を5回開催 【減理由】 新規登録者数は例年以上だったが、前年度からの登録継続者が減ったため
							(17)	【再掲】やさしい日本語普及事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	やさしい日本語研修・講座開催数	－	4回	5回	6回	5回	6回	4回	6回	6回	・やさしい日本語講座2回開催（市・生涯学習推進員、広島国際大学） ・防災アドバイザー事業2回実施 【減理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止としたため
							(39)	【再掲】連携促進事業（交流団体等のつながりづくり）の実施	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	連携促進事業団体・個人数	－	15	20	17	26	19	26	21	23	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
							42	国際交流活動助成金等によるイベント実施の側面的支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	国際交流助成金の助成件数	1	2	1	2	1	2	1	2	2	補助１件（志和町支え合い会議） 【減理由】 新型コロナウイルスの影響により、国際交流団体からの応募が少なかったため
		（2）就労に関するサポート	20	継続	就労機会の創出と就労情報の提供の充実	○雇用対策協議会において、「求人・求職支援事業」やマッチング等の支援を実施し、外国人市民の就労を支援します。 ○国、県等関係機関と連携し、外国人労働者を雇用する事業主に対する支援を図ります。	43	雇用対策協議会における「求人・就職支援事業」、「労働力確保に関する事業」の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 産業振興課	実施	－	→	×	→	×	→	○	→	→	対象者を限定せず外国人市民にも参加可能な就職ガイダンスを実施した。
			21	継続	留学生の就職支援	○留学生の就職を支援するため、広島県留学生活躍支援センターと連携し、インターンシップや就職セミナー等を実施します。	44	広島県留学生活躍支援センターによる就職支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	政策推進監（大学連携） 産業振興課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	広島県留学生活躍支援センターと連携し、就職セミナーの情報提供等、留学生の就職支援を実施
			22	継続	就労しやすい環境づくり	○適正な労働条件を確保するため、労働関係や社会保険関係の法令内容や、労働者の義務、権利等について、関係機関と連携し、外国人労働者を雇用する事業主及び外国人労働者への周知啓発を行います。	45	関係機関と連携した、適正雇用の周知・啓発	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	産業振興課	実施	－	→	×	→	×	→	○	→	→	東広島市企業民主化経営推進協議会で「企業における外国人雇用について」の講演会及び「外国人活用セミナー」を開催
	3　多文化共生に向けた仕組みづくり	（1）市民の意見を反映する仕組みづくり	23	拡充	外国人市民に対する広聴活動の実施	○外国人市民や、受入側の地域住民等の課題やニーズを把握し、施策に反映させるため、一般市民向けや外国人市民向けアンケートを定期的に行います。 ○外国人市民を交えた意見交換会や、各分野における委員等への登用を推進します。	46	市民満足度調査の活用	継続	－	－	－	⇒	－	市民生活課	実施	－	－	－	－	－	－	－	→	－	R5年度に実施予定
							47	外国人市民向けアンケートの実施	継続	－	－	－	－	⇒	市民生活課	実施	－	－	－	－	－	－	－	－	→	R6年度に実施予定
							(39)	【再掲】連携促進事業（交流団体等のつながりづくり）の実施	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	連携促進事業団体・個人数	－	15	20	17	26	19	26	21	23	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
							48	外国人市民の委員委嘱やヒアリング対象への選定の推進	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	国際化推進プラン審議委員に外国籍市民を含めて委嘱

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：○、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	目標値(R3)	実績値(R3)	目標値(R4)	実績値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	実施内容・目標値未達成理由等
2　国際交流と国際理解で未来に続く価値観を創り出し、育むまち	1　国際交流の促進	（1）交流機会の創出	24	【重点】拡充	多様な主体による交流機会の創出	○言語や文化の違いにかかわらず多くの市民が参加し、交流できる機会を創出するため、様々な団体等が主体となって実施する活動を支援し、これまで興味がなかった人も参加しやすいイベントの開催を促進します。 ○多様な交流団体や個人等と連携し、国際都市らしいイベントの開催を促進します。	49	国際交流団体の活動への広報等の支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	国際化推進協議会FB、HP、ブログでの情報発信件数	65件	72件	49件	79件	58件	86件	110件	93件	100件	新たにHP、blogでの情報発信を開始 Facebook 投稿：51件、ホームページblog投稿：59件
							(42)	【再掲】国際交流活動助成金等によるイベント実施の側面的支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	国際交流助成金の助成件数	1	2	1	2	1	2	1	2	2	補助１件（志和町支え合い会議） 【減理由】 新型コロナウイルスの影響により、国際交流団体からの応募が少なかったため
							50	（仮称）ひがしひろしま国際フェスティバルの開催	新規	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	×	→	○	→	○	→	→	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
							51	交流の経験がない人でも参加しやすいイベントの実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	HIC（ひろしま国際センター）等と連携し外国人市民との交流イベントを実施
			25	【重点】拡充	交流の活性化に向けたネットワークの構築	○交流活動の活発化に向けて、日本人、外国人市民共に交流を希望する団体や個人が集まってマッチングする場や、団体間の情報交換を行う場を創出し、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図ります。	(39)	【再掲】連携促進事業（交流団体等のつながりづくり）の実施	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	連携促進事業団体・個人数	－	15	20	17	26	19	26	21	23	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
			26	拡充	都市間交流の充実	○市民の国際交流の気運を高めるため、東広島市と友好都市等の協定を結ぶ徳陽市やマリリア市をはじめとした、海外の都市と多様な分野での交流を推進します。	52	徳陽市・マリリア市との交流	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	△	→	△	→	△	→	→	【一部実施理由】 新型コロナウイルスの影響により、相互の往来は実施できなかったが、各国の紹介（パネル展示等）を市役所本庁舎1階ロビーで実施
							53	大学と連携した海外都市との交流	新規	－	◎	⇒	⇒	⇒	市民生活課 政策推進監（大学連携）	実施	－	－	－	→	△	→	○	→	→	アジア各国からの訪問団を大学で受け入れし、Town & Gownの取組みを紹介するなど、新型コロナウイルスの影響でこれまでできなかった交流活動を再開
		（2）交流を支える人材等の育成・支援	27	拡充	国際化を支える人材の確保・育成	○国際交流や支援活動を支える人材の確保、育成のため、外国人市民を含む国際交流ボランティアの登録を促進するとともに、ボランティアや支援者向けの研修等を実施します。	(36)	【再掲】国際交流ボランティアの登録・育成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	登録者数	550人	580人	643人	605人	697人	630人	538人	655人	680人	うち、外国人市民107人（中国籍が多い） ボランティア向けのスキルアップ講習会を5回開催 【減理由】 新規登録者数は例年以上だったが、前年度からの登録継続者が減ったため
							54	大学と連携した支援者の確保・育成	拡充	⇒	○	⇒	⇒	⇒	市民生活課	国際ボランティアの外国人市民登録者数	121人	146人	146人	171人	164人	196人	107人	221人	246人	【減理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人市民数が減少したため。 ※外国人市民では中国籍が多い
							55	地域で外国人児童生徒等の教育支援活動を行う団体への側面的支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	×	→	×	→	×	→	→	【未実施理由】 新型コロナウイルスの影響により教育支援事業団体からの応募がなかったため
		（3）サポート情報の提供	28	継続	国際交流団体等へのサポート情報の提供	○国際交流に関わる団体や企業等を支援するため、関係機関等が行っているサポート内容を把握し、インターネット等を活用して、より利用しやすく情報を提供します。	56	国際交流に関わる団体・企業等へのサポート情報の提供	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	国や広島県等からの外国人市民向けの情報をコミュニケーションコーナー等へ提供し、SNSを通じて発信
	2　国際理解の促進	（1）多文化共生の雰囲気づくり	29	拡充	多文化共生に関する意識啓発の充実	○異なる文化、生活習慣、価値観等への理解を深めるため、講演会の実施などを通して多文化共生への意識啓発や外国人に対する偏見、差別の解消を図ります。	57	多文化共生に関する意識啓発を図る講演会等の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 人権男女共同参画課	多文化共生講座等の参加者数	200人	220人	90人	240人	56人	260人	52人	280人	300人	講演会を実施 【減理由】 新型コロナウイルスの影響により講座件数を減らしたため
							(41)	【再掲】外国人市民向けの地域組織等の啓発	新規	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 地域づくり推進課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	市広報の多言語版や生活ガイドブックで地域組織情報の掲載
							(38)	【再掲】地域住民に対する外国人市民受入れに向けた啓発	拡充	○	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 地域づくり推進課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	防災アドバイザー事業の実施2件 （下見福祉会館、志和町支え合い会議）
			30	継続	国際理解の促進	○国際的な舞台や地域社会で活躍できる人材の育成を図るため、市内の国際化に関係する機関や留学生、ＪＩＣＡ研修員などの豊かな知的資源を生かし、国際理解を促進する機会を創出します。	58	ひろしま国際プラザを活用した地域交流事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	地域交流事業開催数	47回	49回	34回	51回	27回	53回	91回	55回	57回	東広島市在住の国際交流を希望する地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員等を対象にスポーツを通じた交流イベントを開催
							59	JICA研修員との交流事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	×	→	×	→	×	→	→	【未実施理由】 生活排水処理コース等、全８コースに職員の講師派遣（オンライン含む）を実施。一部、研修員の来日により実施したコースもあったが、新型コロナウイルスの影響により交流事業は未実施
							60	児童生徒の国際感覚の醸成事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	指導課	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合	小 73.3% 中 66.8%	→	○	→	○	→	○	→	小 80% 中 70% 以上	地域の外国人による小学校外国語活動の授業を実施 ※新型コロナウイルスの影響により授業でのコミュニケーションが制限され、聞くことが中心となった（小68.7%，中61.2%）
		（2）国際協力の推進	31	継続	国際協力研修事業への協力	○国際協力への意識の醸成及び国際性豊かな人材の育成を図るため、ＪＩＣＡ中国等が主催する研修事業に積極的に協力します。	61	JICA研修事業への協力	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	協力者数	195	205	4	210	16	215	36	220	230	【減理由】 生活排水処理コース等、全8コースに職員の講師派遣（オンライン含む）を行った。新型コロナウイルスの影響を受けたものの、10月以降の政府による水際対策の大幅な緩和により、内４コースは来日での実施となった。

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：〇、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	目標値(R3)	実績値(R3)	目標値(R4)	実績値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	実施内容・目標値未達成理由等
3　多様性を活力にして世界とつながるまち	1　国際化に向けた都市環境の充実	（1）滞在環境の利便性の向上	32	継続	言語によらず快適に過ごせる滞在環境づくり	○外国人市民等が快適で安心した生活を送ることができるよう、公共サインや街中の地図等について、場所の特性や視認性に配慮し、多言語での表示やピクトグラムの活用等、外国人にも分かりやすい環境づくりに努めます。	62	公共サイン・地図等の多言語化の推進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 ブランド推進課 各施設所管課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	西条酒蔵通りサイン整備計画について、R3年度に多言語対応したサイン整備計画を策定し、R4年度にサインの更新を実施
			33	継続	滞在利便性の向上	○外国人市民や観光客等の滞在中の利便性を向上させるため、飲食店等の各店舗の多言語対応の強化や決済端末の整備、Wi-Fi通信環境整備等に取り組みます。	63	飲食店等の各店舗の多言語対応の強化や決済端末の整備	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	ブランド推進課	実施	－	→	×	→	×	→	○	→	→	飲食店や観光案内所などを対象としたインバウンド対応能力強化研修を実施
							64	Wi-Fi通信環境整備等のICTを活用した滞在利便性の向上	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	ブランド推進課	Wi-Fi通信環境の整備及び管理数	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	4か所	3か所	3か所	「東広島市観光案内所」「西条酒蔵通り観光案内所」「西条本町歴史広場」の3カ所に加え、「道の駅西条のん太の酒蔵」の計4カ所で実施
	2　多様な人材の活躍と地域資源の活用	（1）海外への魅力発信	34	継続	海外向けの観光プロモーションの展開	○海外へ観光情報や本市の魅力を発信するため、広島空港に近い利便性や外国人市民の多い本市の特長を生かし、広島空港との直行便を有する国に対するプロモーションの強化を図ります。	65	海外向け観光プロモーションの展開	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	ブランド推進課	実施	－	→	×	→	○	→	○	→	→	広島空港を起点にした日本酒に関するプロモーション事業を広島国際空港株式会社と連携して実施
			35	新規	外国人市民の情報発信力を生かした魅力の発信	○留学生等の外国人市民の情報発信力を生かすため、外国人市民向けツアーの実施や、大学等と連携した卒業後の留学生とのつながりづくりを進めます。	66	留学生等の外国人市民向けツアーの実施	新規	－	－	－	◎	⇒	ブランド推進課	実施	－	－	－	－	○	－	○	→	→	外国人市民向けツアーの本格実施に向け、市内留学生に参加協力を得てモニターツアーを実施
							67	大学等と連携した卒業後の留学生とのつながりづくり	新規	－	－	◎	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携）	実施	－	－	－	－	○	→	○	→	→	広島県留学生活躍支援センターと連携し、学生や留学生と地域住民との交流促進を目的としたフィールドワーク、交流イベントを開催支援した。
		（2）地域資源の活用	36	継続	地域資源を活用した外国人観光客等の誘致	○外国人観光客等の誘致を進めるため、ターゲットとする国の嗜好等のニーズを的確に把握し、「食」や「自然」「農村」等の地域資源を活用した外国人向け観光プログラムの提供に取り組みます。	68	外国人向け観光プログラムの提供	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	ブランド推進課	実施	－	→	×	→	○	→	○	→	→	東広島市の食文化の中心である日本酒をテーマにした外国人市民向けのモニターツアーを実施
			37	継続	国際協力・交流の活動拠点の活用	○多文化共生と国際化の推進を図るため、ＪＩＣＡ中国やひろしま国際センターが入る「ひろしま国際プラザ」等国際協力、国際交流の活動拠点の活用を進めます。	69	ひろしま国際センターと連携した多文化共生事業の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	参加者数	3,100人	3,200人	1,123人	3,300人	658人	3,400人	1,001人	3,500人	3,600人	【減理由】 新型コロナウイルスの影響によりイベント等を一部実施できなかったため
			38	新規	多様性を生かした都市の魅力の向上	○多様性を生かした都市の魅力向上を図るため、交流団体、個人等と連携し、言語や文化の違いにかかわらず、参加し交流できる国際都市らしいイベントの開催を促進します。	(50)	【再掲】（仮称）ひがしひろしま国際フェスティバルの開催	新規	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	×	→	○	→	○	→	→	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
			39	新規	留学生等の知識を生かした活躍の推進	○大学と連携し、海外からの研究者や留学生等の言語、文化、知識を生かした市民との交流講座の開催等を支援し、活躍できる環境づくりを推進します。	70	大学と連携した市民との交流講座等の開催支援	新規	－	◎	⇒	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携）	実施	－	－	－	→	○	→	○	→	→	広島大学国際交流拠点「ミライクリエ」にて、一般市民向けに国の紹介を交えた交流事業を実施
		（3）多様な人材の活躍支援	40	継続	留学生の活躍支援	○留学生活躍支援センターと連携し、留学生の受け入れ促進や生活・就職支援を行います。	(44)	【再掲】広島県留学生活躍支援センターによる就職支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携） 産業振興課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	広島県留学生活躍支援センターと連携し、就職セミナーの情報提供等、留学生の就職支援を実施
			41	【重点】新規	国際的研究拠点の構築に向けた環境整備	○国際的研究拠点東広島の形成に向け、研究者や留学生が集う基盤を整備するとともに、イノベーションの創出や国際化の推進に向けた取組等を支援します。	71	国際的研究拠点の構築に向けた環境整備	新規	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	政策推進監 （大学連携） 市民生活課	実施	－	→	○	→	○	→	○	→	→	広島大学内の国際交流施設（広島大学フェニックス国際センターミライクリエ）にローカル5G用無線局を設置する等、通信環境を充実

■第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧

継続：⇒、拡充：〇、新規：◎

具体的な活動指標を記載し、設定が難しい場合には「実施」としています。

R4年度に実施予定事業の目標値と実績値を記載。
実績値欄でクリーム色は「目標達成」、橙色は「目標未達成」、ピンク色は「事業未実施」、白色は「実施計画にないもの」になります。

R4年度に実施した事業の主な内容と、目標値が未達成の場合の主な理由を記載しています。

資料2-2

基本目標	施策の方向性	取組むべき施策	取組No.	新規・拡充・継続	具体的な取組	取組内容	事業No.	具体的な事業	新規・拡充・継続	実施計画 R2	R3	R4	R5	R6	担当課	活動指標名	現状値(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	目標値(R3)	実績値(R3)	目標値(R4)	実績値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	実施内容・目標値未達成理由等
共通基盤	様々な主体が参画した推進体制の整備	（1）活動拠点の充実	42	継続	国際化推進活動・交流拠点の充実	〇国際化、多文化共生を推進する活動や交流拠点の機能を強化するため、外国人市民や国際交流団体等からの意見の反映に努めます。	72	国際化推進のための活動・交流拠点の充実	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課 政策推進監（大学連携）	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	広島大学内の国際交流施設（ミライクリエ）1F、2Fのスペースを利用し、様々なイベントを実施
		（2）推進組織の活性化や連携	43	【重点】 拡充	国際交流組織や交流団体間のつながりづくり	〇本市における中核的な国際交流組織である東広島市国際化推進協議会や国際交流団体の活動を活性化させるため、国際交流団体等が交流する場の創出や情報共有を図る仕組みづくりを行い、より多くの団体が関わり、連携して事業を実施するきっかけづくりを推進します。	(39)	【再掲】連携促進事業（交流団体等のつながりづくり）の実施	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	連携促進事業団体・個人数	－	15	20	17	26	19	26	21	23	東広島国際フェスタ2022を開催し、国際交流機関や大学等が参加（来場者3100人）
							73	大学等の国際化関係機関・団体との定期会議の開催	拡充	〇	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	×	→	×	→	△	→	→	【一部実施理由】 定期会議の開催には至らなかったが、随時、関係機関と協議や情報の共有等を進めた。
							74	東広島市国際化推進協議会の支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	国際化推進協議会への財政的補助（18,065千円）
		（3）庁内体制の整備	44	継続	多文化共生コーディネーターの活用	〇多文化共生にかかる施策を体系的に進めていくため、多文化共生や日本語教育等の専門的知識と経験を有する「多文化共生コーディネーター」を配置します。	75	多文化共生コーディネーターの配置	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	コミュニケーションコーナーに2名配置 ※R4年度から1名増員
			45	継続	行政窓口等での多言語対応の充実	〇行政窓口における円滑な意思疎通を図るため、行政国際化推進員を配置して通訳を行うほか、自動翻訳ツールの活用等により、外国人市民が利用しやすい環境を整備します。 〇文書の翻訳は、ガイドラインに基づき用語や精度の統一を図ります。	(5)	【再掲】行政国際化推進員の配置	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	市役所内（市民生活課）に1名（英・中・日対応）配置し、窓口通訳や翻訳業務に従事
							76	自動翻訳ツール等の活用	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	庁内の窓口担当課を中心に翻訳ツールが入ったタブレットを15台整備
							77	翻訳に係るガイドラインの整備・運用	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	庁内職員向けの研修を1回実施
							78	行政文書の翻訳等の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	全庁	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	131件（うちコロナ関係2件）翻訳 ※英・中・ポ・ベ
			46	拡充	多言語対応に向けた職員への啓発	〇職員の多文化共生意識の啓発や多言語対応能力の向上を図るため、市内の外国人市民の状況把握や「やさしい日本語」、多言語対応等に関する職員研修を実施します。	79	職員研修の実施	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	→	〇	→	〇	→	〇	→	→	ひろしま国際センターから講師を招き、窓口業務担当課の職員を対象にやさしい日本語研修を1回実施
							80	庁内向けの「やさしい日本語マニュアル」の整備・運用	新規	－	◎	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	－	－	→	〇	→	〇	→	→	他市の先進事例等を参考に、庁内向けに情報を共有
		（4）広域的な連携の促進	47	継続	周辺市町等との連携促進	〇多言語対応における広域的な連携を促進するため、外国人の生活相談や行政窓口での通訳、災害時の多言語対応の支援について、県や周辺市町、関係機関と連携して、相互に持つ人材や資源を有効に利用し合う体制を整備します。	81	周辺市町等との連携促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	市民生活課	実施	－	－	〇	→	〇	→	〇	→	→	ひろしま多文化共生連絡協議会を中心に情報の共有等の連携実施

	R2	R3	R4	R5	R6	
新規	5件	4件	1件	1件	0件	※再掲含む
拡充	19件	5件	0件	0件	0件	※再掲含む
継続	67件	86件	95件	97件	98件	※再掲含む
計	91件	95件	96件	98件	98件	※再掲含む

	R2	R3	R4	R5	R6
実施（〇） 目標値以上のもの	47		52		60
実施したが目標値等を下回った ※（△）含む	16		21		16
実施できなかった（×）	10		6		3
実施計画にないもの	8		2		2
合計	81		81		81

資料3

プラン改定方針・今後のスケジュール（案）

■プラン改定に向けた現状・課題等

・外国人市民の増加（留学生、労働者、特定技能2号の家族滞在）、多国籍化
　➤外国人市民の活躍支援（主に就労）

・永住者の高齢化
　➤ライフステージに応じた支援（社会保障制度等の周知や啓発）

・外国人の地域参画
　➤受入企業や居住地域（住民自治協議会等）との連携、外国人市民の地域社会の担い手としての育成

・日本語教育
　➤庁内外で「やさしい日本語」の推進、日本語教育支援体制の強化・充実

■東広島市国際化推進プラン審議会スケジュール（案）

	令和5（2023）年度	令和6（2024）年度	令和7（2025）年度
4月 5月 6月		**審議会開催（6月予定）** ・第4次プラン策定諮問 ・第4次プラン策定方針(基本目標・施策の方向性) ・第3次プラン（R5年度分）取組み状況 ・外国人市民アンケート内容	**審議会開催（5月下旬予定）** ・第4次プランパブコメ結果報告 ・第4次プラン策定答申内容 ・第3次プラン（R6分）取組状況
7月 8月 9月	（審議会委員委嘱：令和5年7月10日～） **審議会開催（8月22日）** ・第3次プラン（R4分）取組み状況	**外国人市民アンケート実施** 6月中旬～7月上旬 ◇第1回 市民・交流団体等との意見交換会 （7月上旬予定） ◇第2回 市民・交流団体等との意見交換会 （8月上旬予定） ◇第3回 市民・交流団体との意見交換会 （9月上旬予定）	**☆答申⇒第4次プラン策定** （令和7年度から令和12年度までの6年間） 【第4次プラン策定　議会報告】
10月 11月 12月		**審議会開催（10月中旬予定）** ・外国人市民アンケート結果速報報告 ・第4次プラン基本計画 ・第4次プラン構成	
1月 2月 3月		**審議会開催（1月下旬予定）** ・第4次プラン素案 ・外国人市民アンケート結果報告 【第4次プラン素案　議会報告】 第4次東広島市国際化推進プラン（案） パブリックコメント実施（3月上旬から1ヶ月間）	